

2024年7月11日

**サンスター、口まわりのシワグレード標準を作成
第24回抗加齢医学会総会にて発表
～口まわりのシワが見た目年齢に与える意識調査も実施～**

サンスター株式会社(以下、サンスター)は、東京女子医科大学 川島眞名誉教授監修のもと、口まわりのシワを評価するためのグレード標準(以下、口まわりのシワグレード標準)を作成しました。その内容を第24回抗加齢医学会総会(2024年5月31日(金)～6月2日(日)、於:熊本城ホール)にて発表しました。

◆研究の背景・目的

サンスターが40～70代の女性を対象に実施した「気になるシワに関するアンケート調査」では、全年代で口まわりのシワが1位でした。このように口まわりのシワは改善ニーズが高いものの、それに特化した調査報告は少なく、また、シワ評価のための明確な基準もありませんでした。そこで今回、たるみにより生じるほうれい線やマリオネットラインとは異なる、ほうれい線外側、上嘴唇並びにマリオネットライン周囲の3つのシワを「口まわりのシワ」と定義し(図1)、口まわりのシワが見た目年齢に与える影響を調査、口まわりのシワ評価の第一歩としてシワグレード標準を作成しました。



図1. 口まわりのシワ

◆概要

1. 口まわりのシワが見た目年齢に与える影響

40～70代の女性2,000名を対象に意識調査を実施し、シワの部位による見た目年齢への影響度を確認しました。その結果、「額・眉間」、「目まわり」、「口まわり」のシワのうち、「口まわりのシワ」があると「+17.6歳」と最も年齢が高く見られる結果が得られました(図2)。

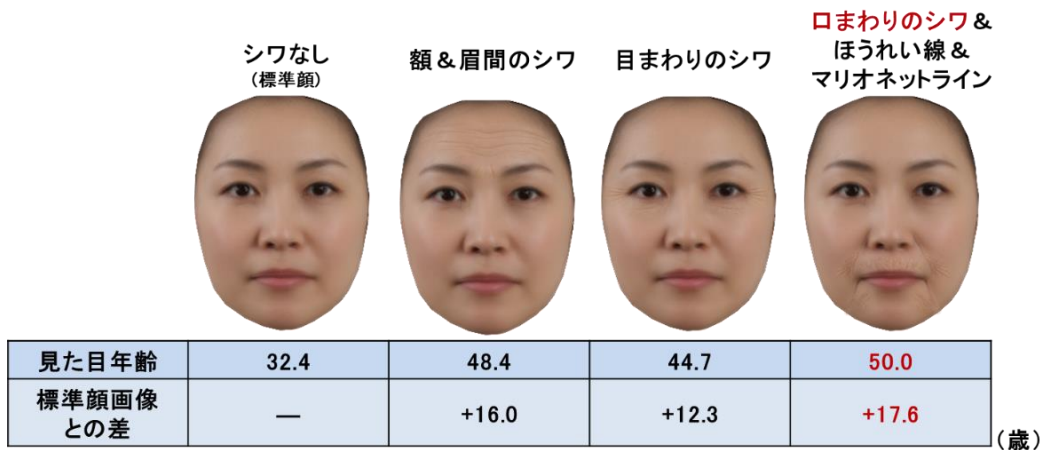


図2. シワ部位別の見た目年齢の比較

続いて、標準顔にほうれい線とマリオネットラインに加え、3つの口まわりのシワを追加した画像で比較した結果、ほうれい線とマリオネットラインのみ加えた画像に比べ、口まわりのシワを加えた画像では見た目年齢が5歳以上高く、特に上嘴唇の縦ジワを加えた画像の見た目年齢が最も高いことがわかりました(図3)。

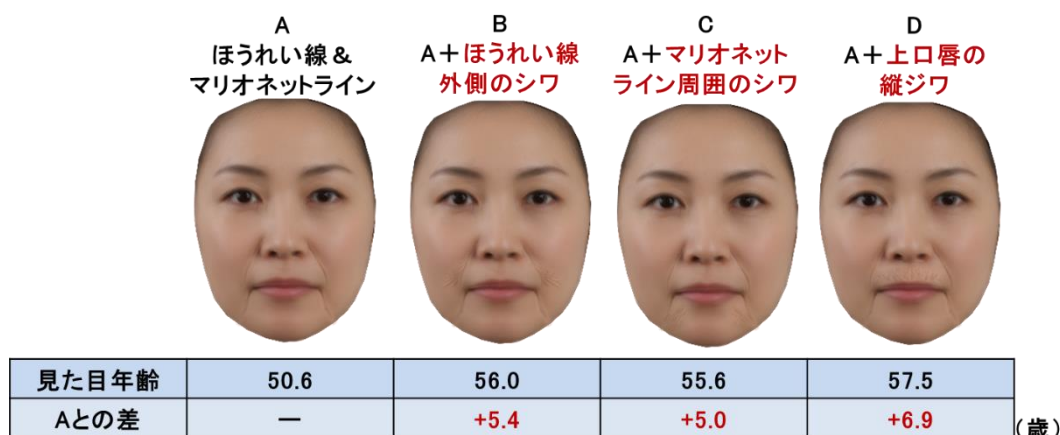


図3. 口まわりのシワ別見た目年齢の比較

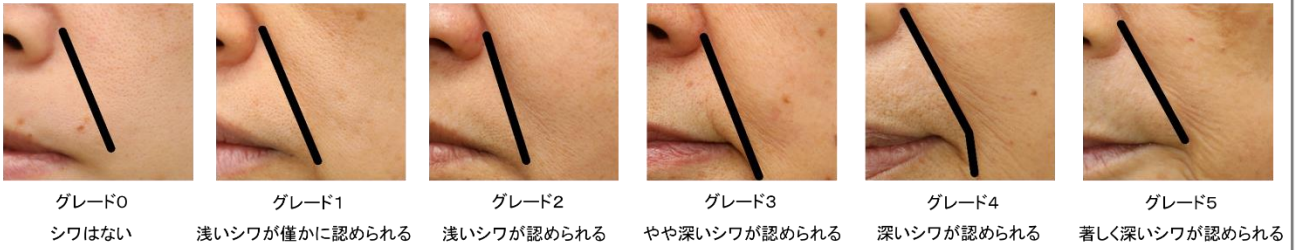
以上より、口まわりのシワによって見た目年齢は上昇し、改善することで若々しさを維持できると考えられます。

2. 口まわりのシワグレード標準の作成

30～70代の女性114名の口まわりの写真を撮影し、口まわりの各シワについて数や深さの程度が異なる複数の写真を選抜しました。そして、4名の美容皮膚科医および美容外科医(以下、専門家)が、シワの重症度の順に選抜した各写真を並び替えました。専門家間で並び替えの順序が一致しなかった場合は、一部写真を変更するなどして修正し、一致した時点で口まわりのシワグレード標準としました(図4)。さらに、口まわりのシワグレード標準を用いて複数のシワ写真のグレード評価を専門家により実施し、その評価値と、責任医師および trained expert(シワ評価に関わるサンスター研究員)が定めた想定値との一致度が良好であったことから(図5)、評価指標としての妥当性が十分高いことを確認しました。

ほうれい線外側のシワグレード標準

* 定義 : ほうれい線の外側かつマリオネットラインより上部の水平方向もしくはやや下方に伸びるシワ。ほうれい線は除く。
 * 評価方法 : シワの深さと数を加味して評価する。



マリオネットライン周囲のシワグレード標準

* 定義 : マリオネットラインの内側に存在するシワ。マリオネットライン及びオトガイのシワは除く。
 * 評価方法 : シワの深さと数を加味して評価する。



上嘴唇の縦シワのグレード標準

* 定義 : 人中を除く、上嘴唇から上方に伸びる縦シワ。
 * 評価方法 : シワの深さと数を加味して評価する。



図 4. シワ標準グレード

※写真内の黒線は、ほうれい線またはマリオネットラインをマスキングする目的で記入しています。

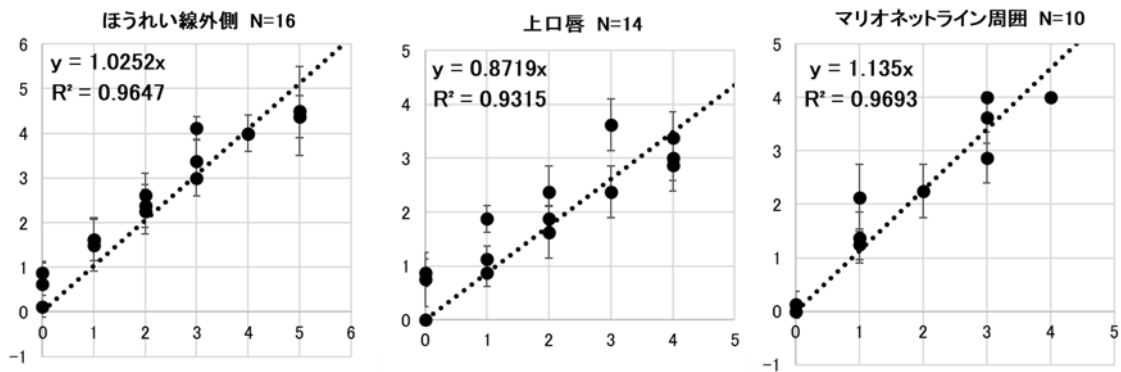


図 5. 専門家の評価値と推定値の一致度 (x軸: 想定値 y軸: 専門家4名の評価平均値)

今後の展望

今回、口まわりのシワ、特に上口唇の縦シワは見た目年齢を上昇させるため、改善することで若々しさが維持できることがわかりました。また、口まわりのシワ評価に適したグレード標準を確立できたため、今後は本グレード標準を活用したシワ改善剤の有効性評価が期待できます。今回の知見を活かし、サンスターは心身ともに健康で豊かな生活の実現に向け、エイジング悩みを解決できる製品開発を進めてまいります。

◆研究結果に関する専門家コメント

東京女子医科大学 名誉教授 川島眞(かわしま まこと)先生



これまで、抗シワ効果を有する医薬部外品の臨床評価は目尻のシワを対象に行われてきた。目尻のしわに関しては、日本香粧品学会が 2007 年に定めたシワグレード標準がある。目尻以外の顔面の気になるシワの一つに口周りのシワが挙げられ、口周りにシワがあると見た目年齢が大きくなるということが知られている。しかし、その口周りのシワグレードを評価する基準は定められていなかった。今回、サンスター株式会社と美容医療に携わる医師により、厳格な策定方法に則り、口周りのシワグレード標準が定められた。このグレード標準は、口周りのシワをターゲットとする製品の評価に今後広く用いられるであろう。

<学会タイトルと著者>

演題: 口まわりのシワに関するアンケート調査及びシワグレード標準の作成

発表者: 藪見奈津希¹、保地秀一¹、野田浩代¹、三井司¹、木村有太子²、今泉明子³、古山登隆⁴、山本有紀⁵、川島眞⁶

1 サンスター株式会社、2 順天堂大学、3 今泉スキンクリニック、4 自由が丘クリニック、5 和歌山県立医科大学、6 東京女子医科大学

【サンスターグループについて】

サンスターグループは、持株会社サンスターSA(スイス・エトワ)を中心に、オーラルケア、健康食品、化粧品など消費者向けの製品・サービスをグローバルに統括するサンスター・スイス SA(スイス)と、自動車や建築向けの接着剤・シーリング材、オートバイや自動車向け金属加工部品などの産業向け製品・サービスをグローバルに統括するサンスター・シンガポール Pte. Ltd. (シンガポール) を中核会社とする企業グループです。